

慶応二年（一八六六年）三月 資料四九号  
諸堂修復のための木柴等売却明細

解説 もともと本堂や椿本社などの諸堂は藩で修復してもらったこととなっていたが（御地頭様におゐて、諸堂寺坊共、御普請被成下候儀ニ御座候（安政三年（一八五六年）四月、資料二七二号）、藩にも余裕がなかったためか、修復費用を伐木によつて捻出することとなり（元治元年（一八六四年、資料三二八号）、本件の通りに実行された（資料二九二号に下書あり））。

立木等の売却総額、九貫百五拾四匁六厘は一匁を二二五〇円とすると、現在の価値で約二〇六〇万円となり、売却による使用可能資金は七七〇万円となった。  
売却収入の三分の二は椿本社の修復に、残額は本堂、釣鐘堂、下の堂の修復と福寿院普請に使われた。

原文

覚

一木千四百式拾八束

代銀 貳貫八百拾三匁壹分六厘 ……①

浜ニ而束直し候上、壹束ニ付壹匁九分七厘

一雜長千五百九拾束

代銀 三貫五拾貳匁八分 ……②

前同断壹束ニ付壹匁九分貳厘

一柴式千五百拾束

代銀 三貫貳百八拾八匁壹分 ……③

前同断壹束ニ付壹匁三分壹厘

九貫百五拾四匁六厘 …… I（立木等売却総額①〜③）

内

銀札壹貫貳百七拾六匁八分 ……④

木雜長伐賃壹本ニ付、四分ツ、

三千百九拾貳束

同 壹貫貳百六拾九匁四分五厘 ……⑤

柴伐賃貳千八百式拾壹束

壹束ニ付、四分五厘ツ宛

右二口 ……⑥（④〜⑤）

ズ式貫五百四拾六匁三分五厘  
此正味 式貫四百九拾五匁三分三厘  
・ ・ ・ ・ II (直接経費)

右之利 式百拾九匁五分九厘  
子十二月ヨリ丑九月迄閏月共十一ヶ月分月八毛  
・ ・ ・ ⑦

銀札四百八拾壹匁四厘  
・ ・ ・ ⑧

木柴六千拾三束 右之賃、壹束八厘宛  
同八拾五匁三分  
・ ・ ・ ⑨

柴式百束、壹束三分宛、猶右九□壹□匁ニ付式匁壹分宛  
同式拾五匁  
・ ・ ・ ⑩

木柴伐取、出束請取ニ参候同賃  
リ九拾七匁八分  
・ ・ ・ ⑪

山ズ并山仕舞之酒代煮出共  
右五口  
・ ・ ・ ⑫ (⑦?⑪)

ズ七百式拾三匁四厘 (計算は合わない)  
此正味七百八匁五分八厘  
・ ・ ・ III (その他経費)

右之利  
四拾五匁三分五厘  
・ ・ ・ ⑬

丑 (元治二年) 三月ヨリ九月迄八ヶ月分同八厘

銀札式貫四百五匁三分  
・ ・ ・ ⑭

木柴六千拾三束、山ヨリ浜出し賃、壹束四厘にて  
同三拾九匁  
・ ・ ・ ⑮

木柴浜出し迄束直し改ニ付  
村役人壹人宛罷出立合御改雑用  
右二口

ズ式貫四百四拾四匁三分  
・ ・ ・ ⑯ (⑬?⑮)

此正味式貫三百九拾五匁三分式厘  
ズ五貫八百六拾四匁壹分七厘 (計算は合わな  
い)  
・

・ ・ ・ V (諸費用総額ⅡⅢⅣ)

差引 三貫式百八拾九匁八分九厘  
・ ・ ・ VI (純手取額ⅠⅡⅢⅣⅤ)

右払方

三百九拾五匁八分

本堂方

貳百九拾七匁

下之堂方

三百壹匁五分

釣鐘堂方

貳貫貳百貳拾七匁五分

椿本社

〆三貫貳百貳拾壹匁八分

・  
・  
・  
①

請負人 大工喜助渡

四拾匁 福寿院笹垣仕立入用

四拾匁 引建門仕立手間代

百三拾匁 福寿院御普請中職人小家江薄縁□仕入権料

拾匁 木柴見分役衆直候御手間賃

〆貳百貳十匁

・  
・  
・  
②

貳口札

〆三貫四百四拾壹匁八分

・  
・  
・  
③ (①〜②)

正味三貫三百七拾貳匁九分六厘

・  
・  
・  
VII (支払い総額)

差引

八拾三匁七厘不足

・  
・  
・  
(差引VI〜VII)

此不足銀村役人申談普請出来候様可仕候

寅(慶応二年 一八六六年)三月

梶田俊之進

木柴売却収支 資料 49を1表にまとめたもの

単位: 匁

	項目	種類	束数	単価(匁)	総額	備考
収入	売却総額	木	1,428	1.97	2,813.16	
		雑木長	1,590	1.92	3,052.80	
		柴	2,510	1.31	3,288.10	
		計	5,528		9,154.06	
支出	伐木	木・雑長	3,192	0.40	1,276.80	
		柴	2,821	0.45	1,269.45	
		計	6,013		2,546.25	
		正味経費			2,495.33	計算では2,546.25
	運搬人件費	伐木への金利	2,495.33	0.08	219.59	11ヵ月×2,495.33 月0.08
		木柴	6,013	0.08	481.04	1束8厘
		柴	200	0.30	85.20	1束3分 計算方法不明
		木柴受取賃			25.00	
		終了時振舞酒代			97.80	
		計			708.58	計算では689.04
		浜出し賃	運搬経費への金利		45.35	708,58×0.08×8
			浜出し賃		2,405.20	6013束に対し1束4厘
			木柴束結い直し代		39.00	
			浜出経費	計	2,395.33	計算では2,444.20
		経費合計			5,864.18	計算では5,833.28
	純手取額(収入-経費計)			3,289.88		

現在価額に換算すると

前提1匁=2,250円

単位 円

売却総額	20,596,635
経費	13,194,405
余剰資金	7,402,230

余剰資金使途

本堂	890,550
下の堂	668,250
釣鐘堂	678,375
椿本神社	5,011,875
文殊院普請関係	495,000
使途合計	7,744,050

以上は寄託文書49を表計算に作り直したものである

余剰資金使用明細					
支出	本堂修理			395.80	
	下の堂修理			297.00	
	釣鐘堂修理			301.50	
	椿本堂			2,227.50	
	計			3,221.80	
	福寿院笹垣			40.00	
	門引き立て手間賃			40.00	
	福寿院普請小屋			130.00	
	木柴見聞役衆へ			10.00	
	計			220.00	
	使途明細計			3,372.96	計算では3,441.80
	差引(収入-支出)			△ 83.08	不足分村役人協議